タイトル	伊豆の国市制施行20周年記念 創作能「坦庵」の開催について
担当課	産業部観光文化課　担当：公野 （電話：055-949-8600　内線：5016）

１　開催の目的

子供から高齢者まで多くの市民が文化芸術に触れる機会を創ることを目的とし、文化芸術鑑賞機会の創出、更に今年度は、伊豆の国市制施行20周年であることから、記念事業として、伊豆の国市ゆかりの人物である江川坦庵を題材とした創作能の公演を行います。

２　開催要領

日　時：令和７年８月31日（日）　開場：13時30分　開演：14時00分
場　所：韮山文化センター（韮山時代劇場）大ホール
　　　　伊豆の国市四日町772
チケット：一般　3,500円　高校生以下　1,500円　※未就学児入場不可
発売日：６月14日（土）～発売中　　電話予約は韮山文化センターのみ受付
問合せ：観光文化課文化振興係
　　　　韮山文化センター　電話：055-949-8600

３　作者紹介

【辰巳満次郎プロフィール】

宝生流辰巳家当主。国内外で多くの舞台活動・普及活動を行う。2001年に重要無形文化財総合指定に認定される。1985年ごろより、静岡県三島市・沼津市・御殿場市・熱海市などで指導を行っている。大阪関西万博オープニングイベントにも出演。現在、公益社団法人　宝生会理事。MOA美術館能楽堂運営委員を務める。

４　番組概要

・古くてアヴァンギャルドな能～ワークショップと解説～　　辰巳満次郎
　仕舞　　「小袖曽我」・「羽衣」・「熊坂」

・創作能「坦庵」　　辰巳満次郎　作

シテ	盲目の老人・坦庵の霊	辰巳満次郎
ツレ	旅の若者	辰巳　和磨
アイ	時空の精	大藏　基誠

（裏面へ続く）

前半に、由緒ある宝生流の能楽師である辰巳満次郎氏による、ワークショップと解説として、仕舞３演目が舞われ、能についてご講義いただきます。

後半は、同じく辰巳満次郎氏により作られた、完全オリジナル作品、創作能「坦庵」が舞われます。

この作品は、東京　お台場と伊豆の国　韮山が舞台となり、旅の若者が、時空を超えて坦庵の霊と出会い、坦庵は旅の若者が悩んでいた人の使命について教えを説くという話であります。

今回の公演では、静岡県立韮山高等学校の演劇部員の参加と、第24回国民文化祭において作られた合唱曲、江川坦庵のバラード「瑠璃色の空の下で」が使われる予定です。

５　その他

韮山文化センターの駐車場台数には限りがありますので、公共交通機関のご利用にご協力をお願い致します。

伊豆の国市制施行二十周年記念

創作能「坦庵」

プロフィール

辰巳 满次郎（たつみ まんじろう）

代々の能楽師の家系を継ぎ、現在宝生流辰巳家当主。全国にて公演及び指導をする。1985年ごろより、三島・沼津・御殿場・熱海などでも指導している。重要無形文化財総合指定保持者。公益社団法人　宝生会理事。

2025年8月31日㊐　開場 13：30　開演 14：00

伊豆の国市韮山文化センター　韮山時代劇場　大ホール

〒410-2123　静岡県伊豆の国市四日町772　※駐車場が不足しているため、公共交通機関のご利用にご協力ください。

チケット販売日　6月14日（土）

全席指定　一般：**3,500**円（税込）　高校生以下：**1,500**円（税込）
※未就学児入場不可

※電話予約は**6月15日（日）**から韮山文化センターのみで受け付けます。℡.055-949-8600

チケット販売所

- 韮山文化センター（韮山時代劇場）℡.055-949-8600
- 長岡総合会館（アクシスかつらぎ）℡.055-948-0225
- ローソンチケット【Lコード 43097】（ローソン・ミニストップにてお求めになれます。）
- チケットぴあ【Pコード 534-911】（セブンイレブンにてお求めになれます。）

※車いす席をご希望の方は、チケット購入前に会場（韮山文化センター）に直接お問い合わせください。※都合により変更や中止になる場合がございます。ご了承ください。

●主催／伊豆の国市　●お問い合わせ／伊豆の国市観光文化課文化振興係　℡.055-949-8600

番組

古くてアヴァンギャルドな能
〜ワークショップと解説〜　辰巳満次郎

仕舞
「小袖曽我」　田崎甫　木谷哲也
「羽衣」キリ　辰巳孝弥
「熊坂」　佐野登
地謡　山内崇生　澤田宏司　亀井雄二　朝倉大輔

――休憩――

創作能「坦庵」
辰巳満次郎 作

シテ　盲目の老人／坦庵の霊　辰巳満次郎
ツレ　旅の若者　辰巳和磨
アイ　時空の精　大藏基誠
笛　栗林祐輔
小鼓　住駒充彦
大鼓　大倉慶乃助
後見　佐野登　田崎甫
地謡　山内崇生　澤田宏司　辰巳孝弥　亀井雄二　朝倉大輔　木谷哲也

挿入歌「瑠璃色の空の下で」
共演　静岡県立韮山高等学校 演劇部

大藏 基誠（おおくら もとなり）

1979年生まれ。東京都出身。25世大藏彌右衛門の次男。4歳8ヶ月で初舞台を踏み、今日までに「末広がり」「那須の語」「千歳」「三番三」「釣狐」「花子」を披く。
小・中・高校に出向き狂言を楽しませる学校狂言を展開し若い世代に伝統芸能の楽しさを伝える。
普及活動に力を入れており、2004年マレーシア公演企画、2005年「さくっと狂言」初心者でも楽しめる伝統芸能としての舞台を作り上げる。2011年「kyogen lounge」では狂言とpartyを融合、そのほか様々企画演出をする。
伝統を重んじながらも時代の流れにのり柔軟な姿勢で2017年よりNHKラジオ「ラジオ深夜便」ニッポンの音のパーソナリティーを勤める。
2019年映画「よあけの焚き火」主演。
重要無形文化財総合指定保持者。
（公社）能楽協会東京支部会員。日本能楽会会員。一般社団法人EXTRAD代表理事。奈良市観光大使。

佐野 登（さの のぼる）

シテ方宝生流能楽師。1960年東京都出身。東京藝術大学邦楽科卒業。宝生流18代宗家宝生英雄に師事。重要無形文化財総合指定（能楽）保持者。（一社）日本能楽会及び（公社）能楽協会会員。
全国各地での演能活動や謡曲・仕舞の指導を中心に、日本の伝統・文化理解教育の一環として「生きる力」をテーマとしたエデュケーション・プログラムを日本各地の教育現場で行っている。また、次世代育成、普及における伝統文化伝承のための多様な体験型プログラムを実施し、能楽ワークショップも開催している。
海外公演にも多数参加し、他ジャンルのアーティストとの交流も活発に行う。作品の創作活動、舞台演出も手掛けながら独自の舞台活動を展開しつつ、現代に活きる能楽を目指し、積極的に活動をしている。
一般社団法人「未来につながる伝統」を立ち上げ、代表理事として各地での「能楽部隊」を組織し、静岡県内でも多数の子ども達を指導する。

辰巳 満次郎（たつみ まんじろう）

シテ方宝生流能楽師。1959年神戸市に、代々能を勤める辰巳家に生まれる。
東京都目黒区在住。
1978年東京芸術大学音楽学部邦楽科入学と同時に上京、先先代宗家宝生英雄の内弟子となる。1986年独立、関東・東海・関西を中心に舞台活動、普及活動を行う。2001年重要無形文化財総合指定認定をうける。2005年大阪文化祭賞奨励賞受賞。
2023年文化庁文化交流使に任命される。
エルサレム嘆きの壁、カイロスフィンクス、バチカン聖堂、ヴィツェンツァオリンピコ劇場、メキシコ三文化広場、ローマ日本文化会館、ニューヨーク国連広場、ニューヨークメトロポリタン美術館ホール、ソウル国楽堂、アゼルバイジャン国立ホールなど出演。
大阪関西万博オープニングイベントにてEXPOアリーナで主演。
新作活動として、「マクベス」「オセロ」「神武」「道頓」「覇王」「王昭君」「敦盛」「輩々」「八太夫」「保元物語」など。
2020年、一般社団法人日本芸術文化戦略機構を立ち上げる。現在名誉理事長。公益社団法人宝生会理事、MOA美術館能楽堂運営委員。

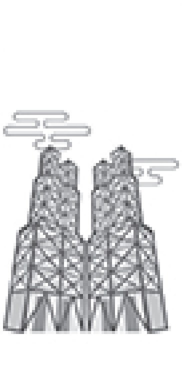
辰巳 和磨（たつみ かずま）

シテ方宝生流能楽師。辰巳満次郎の長男。東京生まれ、目黒区在住。父に師事、4歳で初舞台。宝生宗家故 宝生英照に入門。東京芸術大学音楽学部邦楽科入学、宝生宗家内弟子となる。2019年独立。公益社団法人能楽協会東京支部所属。公益社団法人宝生会正会員。
同門会「宝珠会」を主宰。東京芸術大学音楽学部教育研究助手を務める。
NHK歴史秘話ヒストリアにて世阿弥を主演ほか、
「芸能花舞台（NHK）」「古典芸能への招待（NHK）」「にっぽんの芸能（NHK）」「先人たちの底力 知恵泉（NHK）」
ハリウッド制作ゴールデングローブ受賞ドラマ映画、真田広之主演「SHOGUN将軍」にて能楽師役として出演、実技指導もする。

あらすじ

隅田川を下ってお台場に着いた旅の若者が、人間の生き様について思い悩んでいると、不思議な男（時空を自由に行き来する精）が声をかけてきて、若者に名所を教える。そこへお台場に棲みつく盲目の老人が現れる。
老人は「迷いも悟りも己の心次第であり、心の師となれば、解決するのだ。伊豆の国へ行き、坦庵に会えば、わかる」と言って消え去る。
時空の精は「坦庵とは江川太郎左衛門英龍のことであるが、江戸時代末期の一七〇年前に、すでに亡くなっている。しかし、世には不思議なことがあるので先ずは行ってみれば良い」と言って先導する。
二人は伊豆の国、韮山に着く。反射炉まで来ると、村人の若者達が坦庵を讃える歌を歌ううちにタイムスリップする。
すると坦庵の霊が現れて、自分の生き様を若者に伝える。反射炉を造り、お台場を整備したこと。江川塾で佐久間象山や桂小五郎など多くの弟子を育てたこと。民に世直し明神と言われたこと。ついには過労死したこと、などなど。人それぞれの使命とは如何なるものか、故郷を、国を、文化を大切にすることがいかに大事かを語り、消え去る。
気が付くと、若者は夢覚めたように現代の舞台場に戻り、使命を知り、力強く歩み始める。
時空の精は彼を見送り、満足気な様子で消える。

伊豆の国市韮山文化センター
韮山時代劇場　大ホール
〒410-2123　静岡県伊豆の国市四日町772
℡.055-949-8600

車でお越しの方
136号線から八坂神社交差点を伊豆箱根鉄道韮山駅方面へ。（三島方面から来た場合は左折、修善寺方面から来た場合は右折。）踏切を渡り、50m先を右折。

電車でお越しの方
JR三島駅より伊豆箱根鉄道へ乗り換え、韮山駅で下車。駅より徒歩5分。